

2014年 3月15日

「野鳥のお話」「バードセーバー作り」講座 報告書

鼎 丈太郎

講師 清正 斉先生（奄美野鳥の会）

日時 2014年 3月15日（土）

場所 瀬戸内町立図書館・郷土館（視聴覚室）

参加者 大人 10名 子供 12名 計 22名

目的

今回の講座では、「バードアタック」（野鳥が窓ガラスや壁にぶつかり死亡すること）の原因やその対処法について学んだ。「バードアタック」への対処法の中で、奄美の野鳥を守る取り組みのひとつとして「バードセーバー」作りを行い、参加者に奄美に住む野鳥の特徴や生態、自然保護について考える機会とする。

成果

「バードアタック」の原因やその対処方法について知る機会となり、参加者の野生生物や自然についての関心や興味を深める機会となった。

講座内容

- ・奄美大島における鳥類の窓ガラスへの衝突事故について
人間の活動が鳥類に及ぼす特徴的な影響・・・窓ガラスへの衝突（「バードストライク」）
鳥類の窓ガラス衝突死（63件／329件） ※2006年4月～‘12年3月
様々な種が一年を通して衝突している。
観光施設、公共施設、学校が事故の8割を占めている。
- ・衝突事故の発生傾向とその対策
常に注意し、事故多発施設で適切な対策をとる。
（例）防鳥ネット、緑のカーテン、ブラインド設置、バードセーバー 等
- ・「バードセーバー」について
鳥に窓ガラスの存在を気付かせるためのシール
- ・衝突事故防止対策について
現在、単一かつ有効な防止対策はないが、効果のありそうな対策を複合的に組み合わせる試みるのが重要である。



講座風景 1 「鳥類の衝突事故について」 ①



講座風景 2 「鳥類の衝突事故について」 ②



講座風景 3 「奄美の野鳥について」



講座風景 4 「野鳥の鳴き声について」



講座風景 5 「バードセーバー作り」 ①



講座風景 6 「バードセーバー作り」 ②



講座風景 7 「バードセーバー作り」 ③



講座風景 8 「バードセーバー取り付け」